

2023年4月5日(水)第一水曜祈祷会

マルコの福音書14章53～72節

「信仰はゆだねること」

【昨日のあらすじ】

- ① イエスさまのもとに、ユダをはじめ祭司長たちが現われ、イエスさまに手をかけて捕らえた。
- ② ペテロが剣を抜いて大祭司のしもべに切りかかりますが、イエスさまにいさめられた。
- ③ 結局、弟子たちはみな、イエスさまを見捨てて逃げ出してしまった。
- ④ 51—52節はマルコ独自の記事であることから、マルコ自身のことだったのかもしれない。

【観察と黙想】

1. 不当な裁判が行われる(14章53～65節) * 最高法院(サンヘドリン)は71名の議員で構成。

- ① この裁判が異例であったのはどんな点ですか。
→
- ② この裁判を行う目的は何ですか。
→
- ③ イエスさまに不利な証言を得ようとしたにも関わらず、見つからなかったのはなぜですか。
→
- ④ 「わたしは人の手で造られた神殿を壊し…」とは、どのような意味で言われたのですか。
→
- ⑤ 大祭司カヤパの質問に対し、イエスさまが答えられたことは、どんな意味がありますか。
→
- ⑥ 最高法院はイエスさまをどんな罪状することを確定しましたか。
→

2. ペテロがイエスさまを否認する(14章66～72節) * ペテロ自身の証言によるものと思われる。

- ① ペテロはどうしてイエスさまを知らないと言ったのですか。
→
- ② 「嘘ならろわれてもよいと誓う」とはどういう意味ですか。
→
- ③ ペテロが泣き崩れたのはどうしてですか。
→

【適用と分かち合い】

- ① イエスさまはなぜカヤパの質問に答えたのですか。もし答えなければどうなっていましたか。
- ② ペテロはイエスさまを否認してしまったことをどんな思いで証言していったと思いますか。
- ③ ペテロはなぜ立ち直ることができたのですか。
- ④ あなたはイエスさまの赦しとはどういうものですか(体験されたことがありますか)。